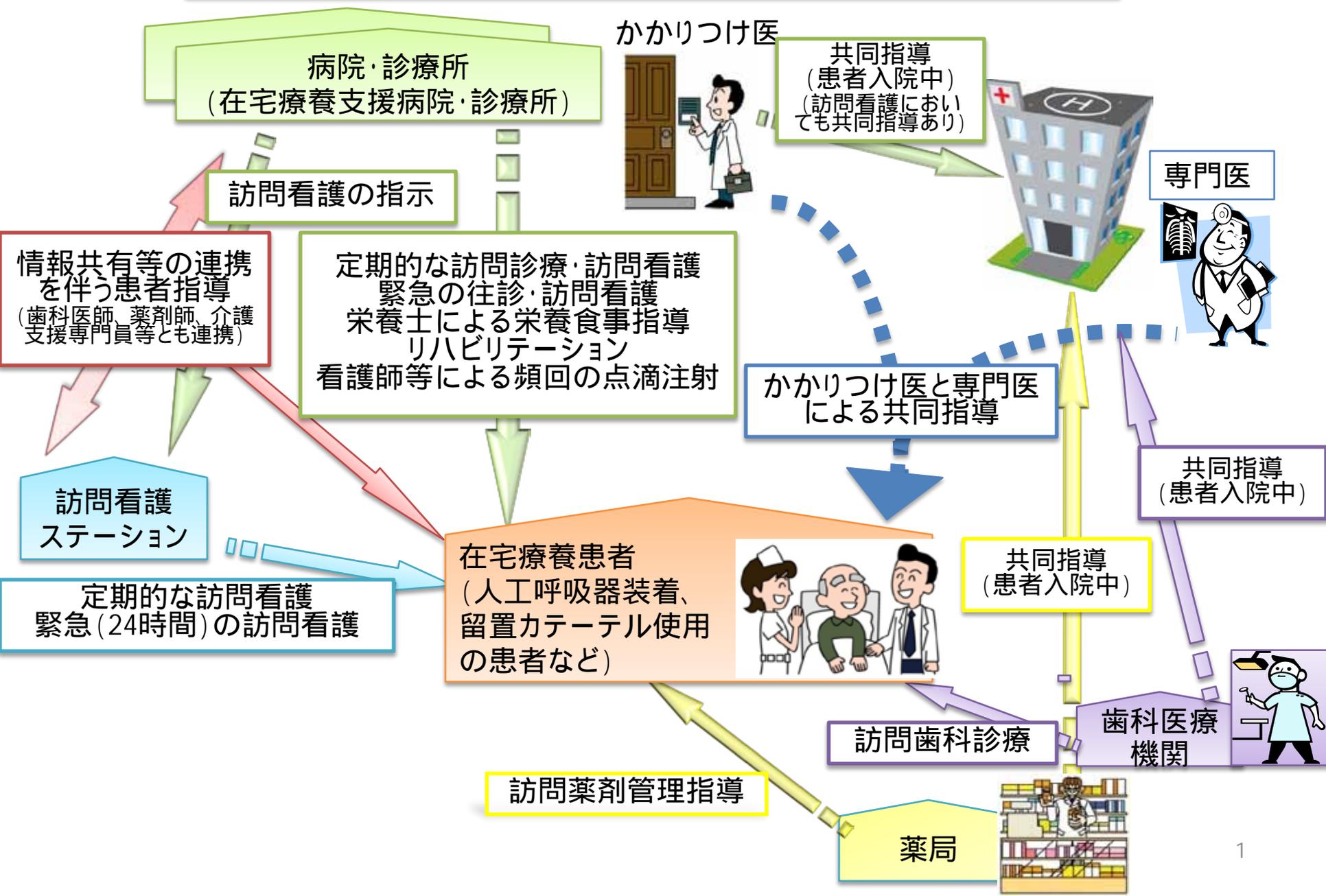


参考資料

在宅医療

在宅医療の提供体制



在宅医療の希望

■ 受けたい

■ どちらかとい
うと受けたい

■ どちらでもな
い

■ どちらかとい
うと受けたく
ない

■ 受けたくない

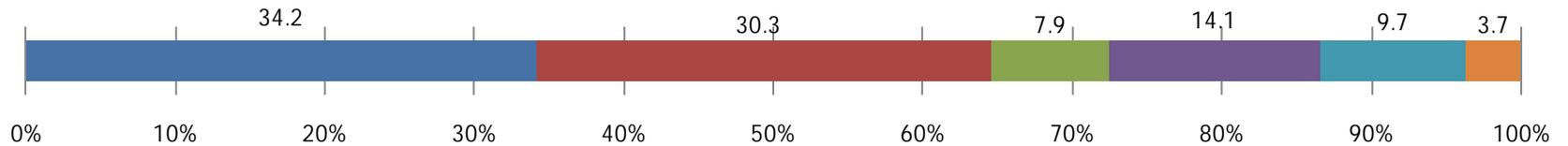
■ 無回答

N=1,627

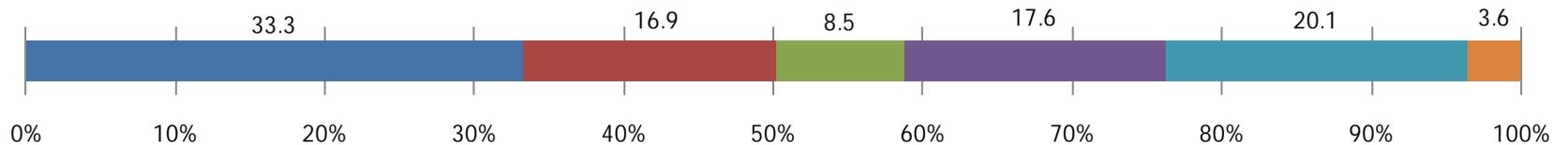
入院中の状態から退院できる状態となった場合



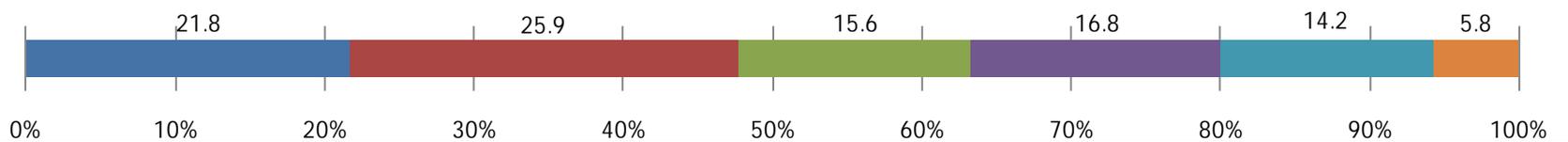
通院が困難になった場合



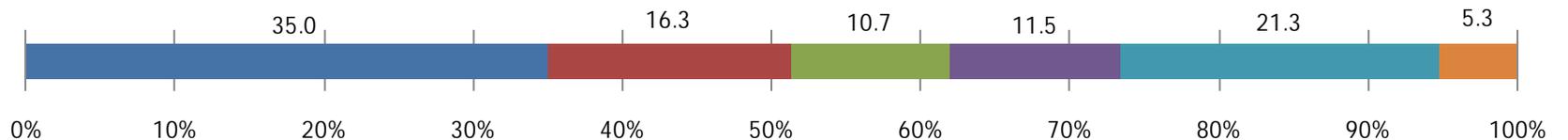
寝たきりになった場合



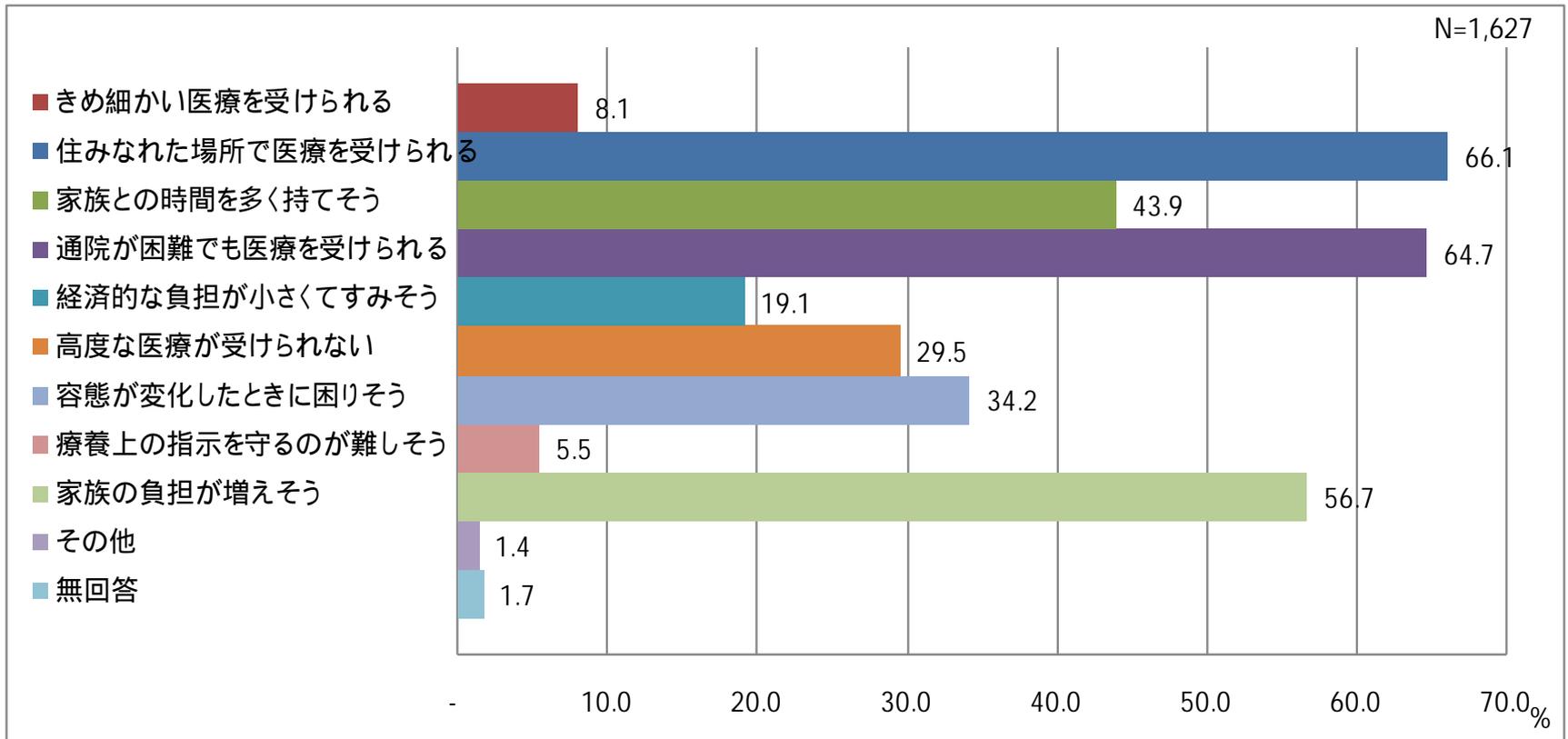
慢性疾患に罹患した場合



余命1～3カ月程度となった場合



在宅医療のイメージ



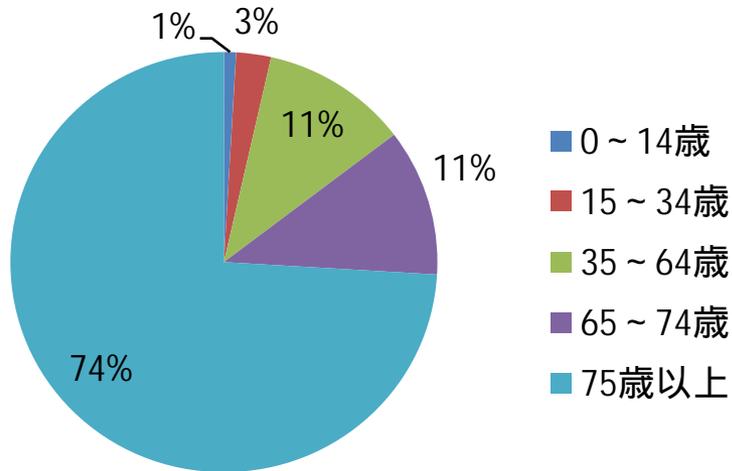
平成21年保険局医療課調べ

在宅医療に係る患者数

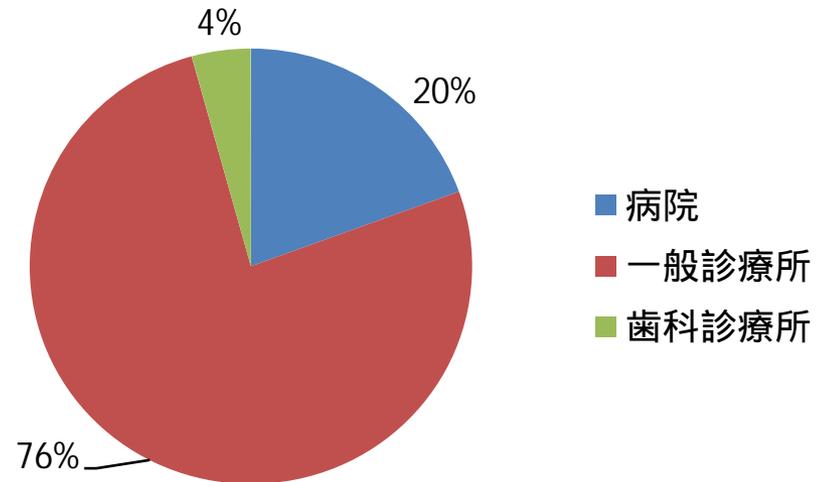
調査日に外来医療を受けた患者数 約709万2千人

調査日に在宅医療を受けた患者数 約6万5千人

在宅医療を受けた患者の年齢構成



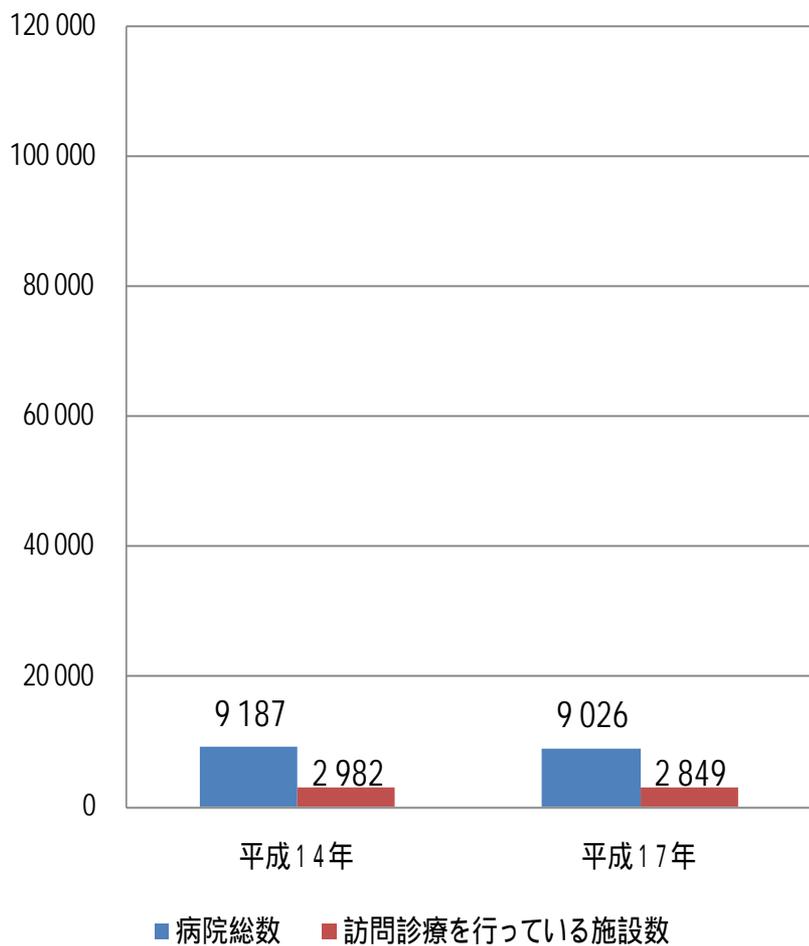
在宅医療を受けている患者の施設の種類の構成割合



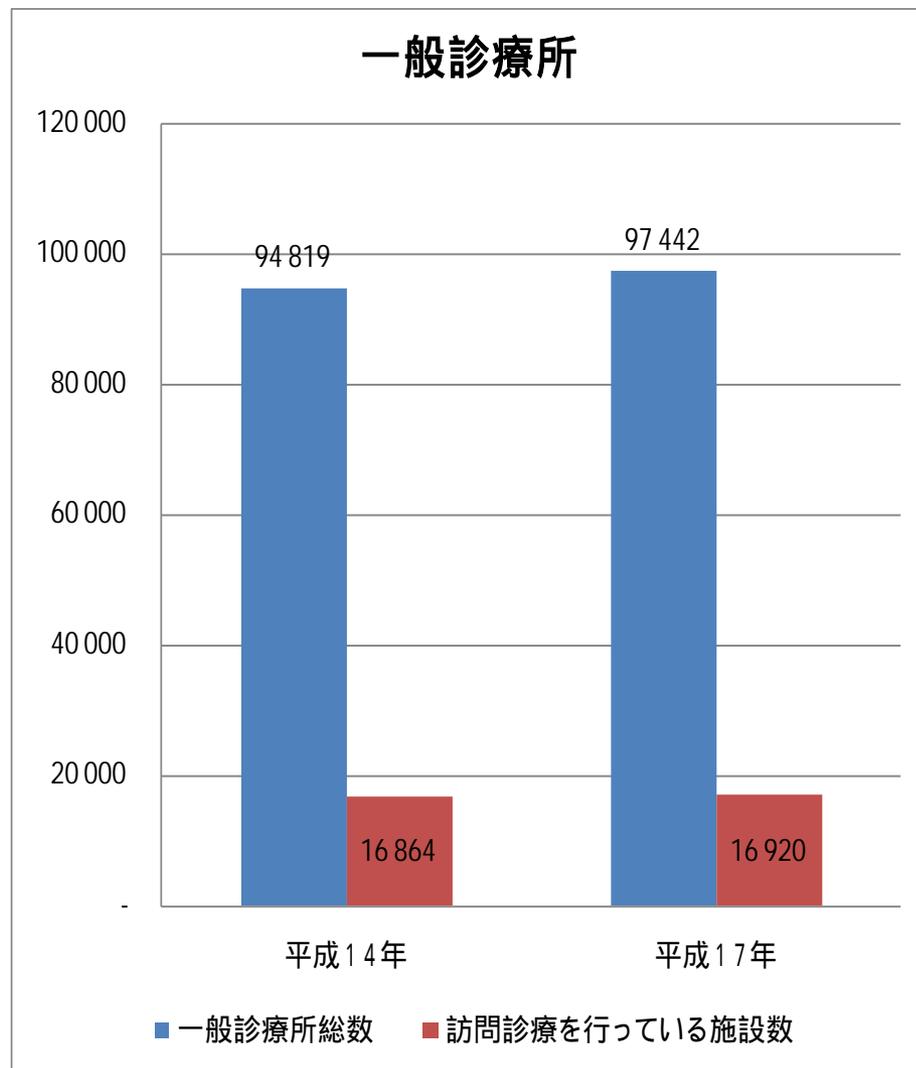
出典) 平成17年患者調査

訪問診療を行っている施設数

病院



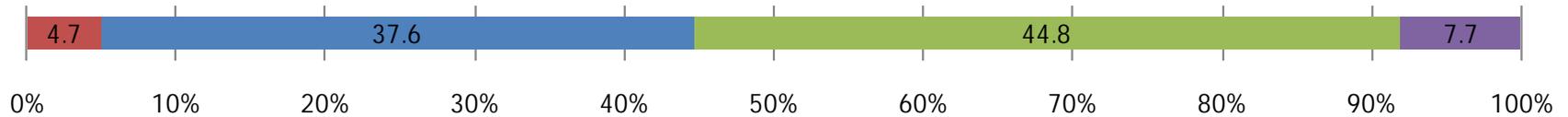
一般診療所



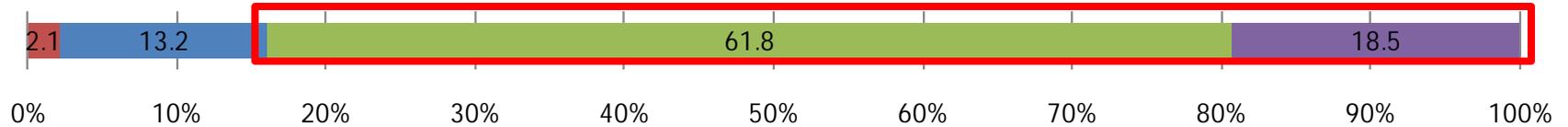
在宅医療の提供体制

在宅医療を行う医療機関に対するアンケート調査

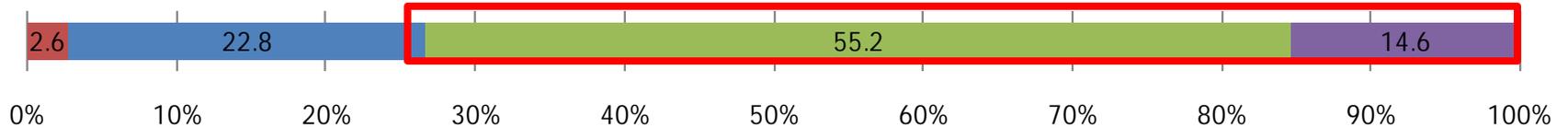
退院支援を行うための体制等を整備し、患者の在宅医療への移行を積極的に進めている



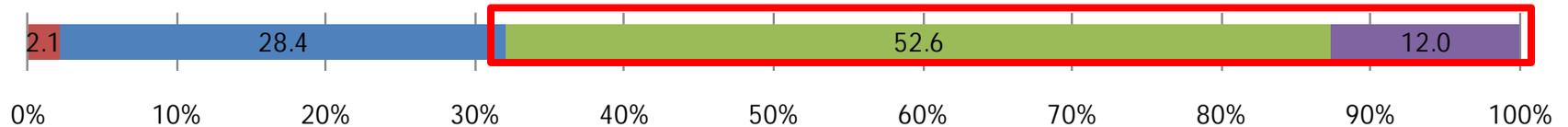
在宅医療に従事する医師・看護師数は十分な水準にある



24時間対応の協力体制は整備が進んでいる

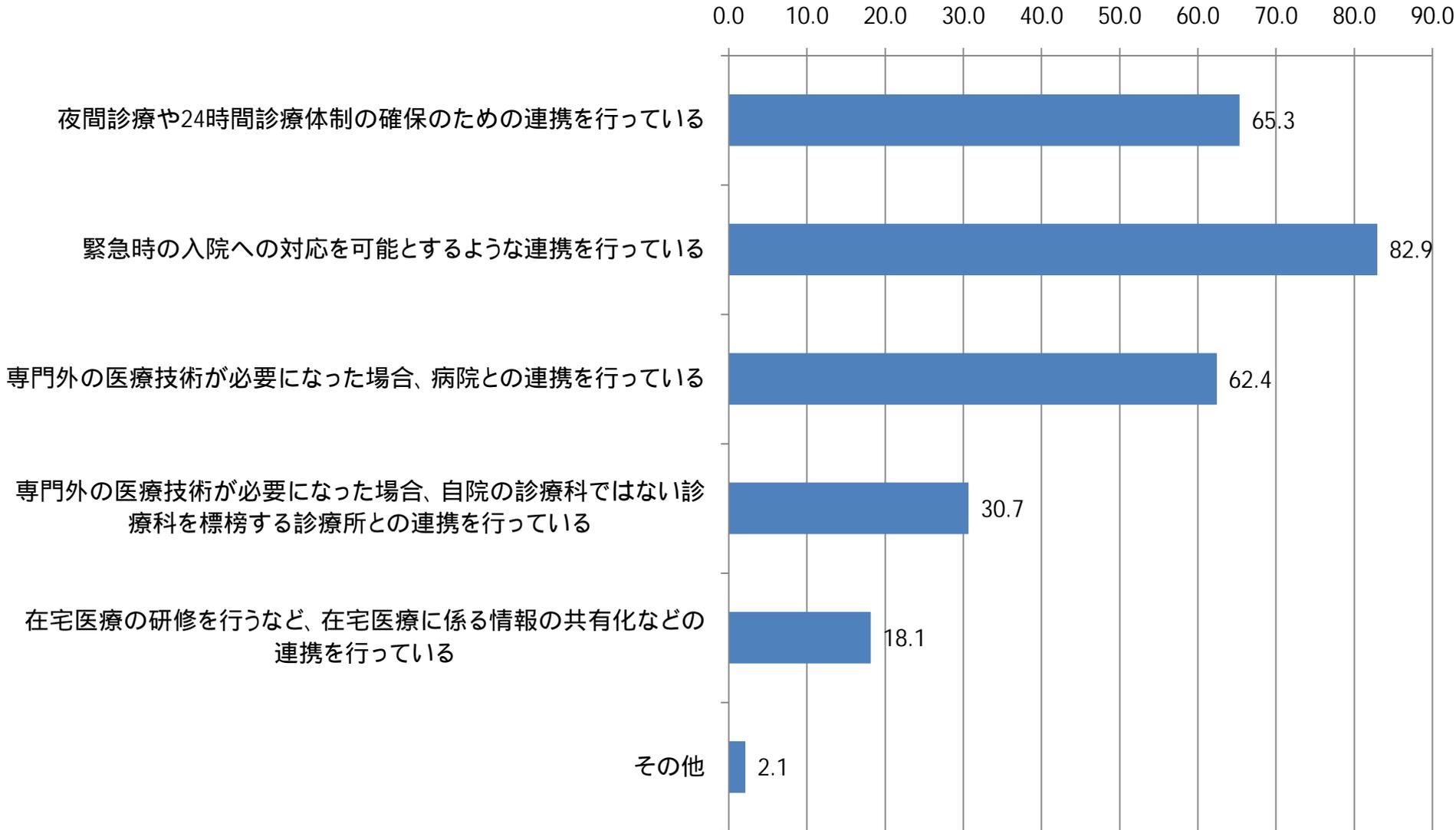


在宅医療に関わる訪問看護ステーションの施設数は十分な水準にある



■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

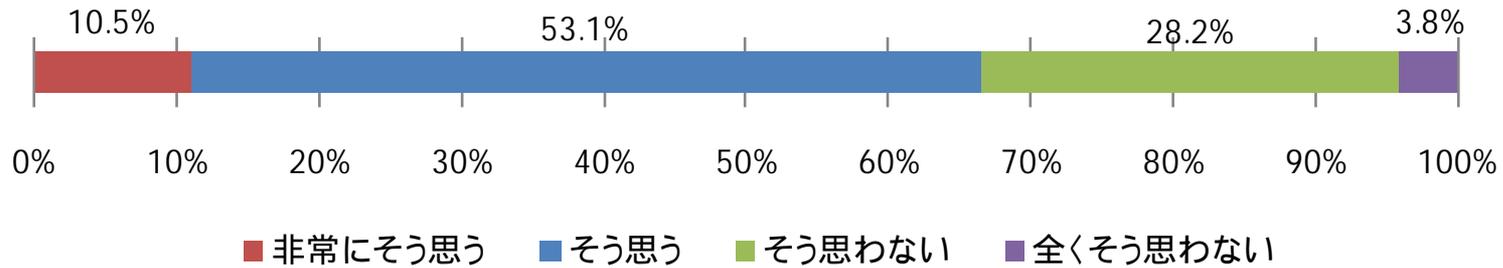
在宅医療の提供体制



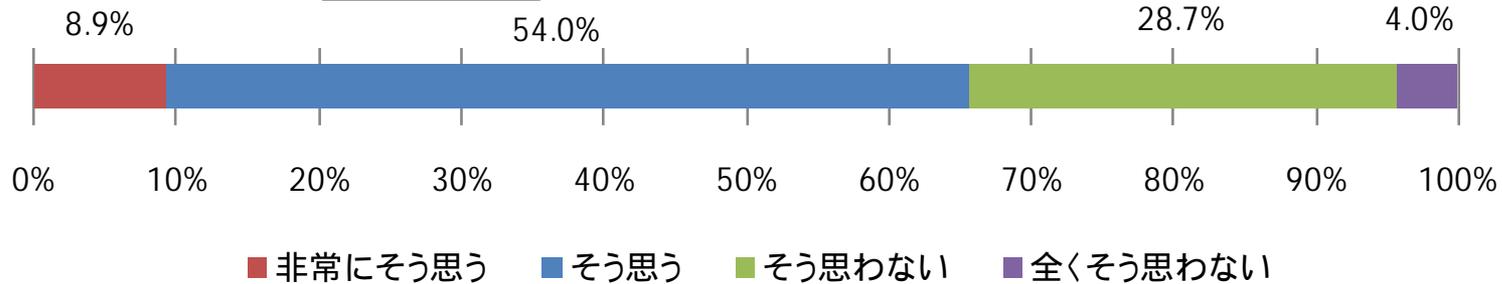
在宅医療における連携状況

在宅医療を行う医療機関に対するアンケート調査

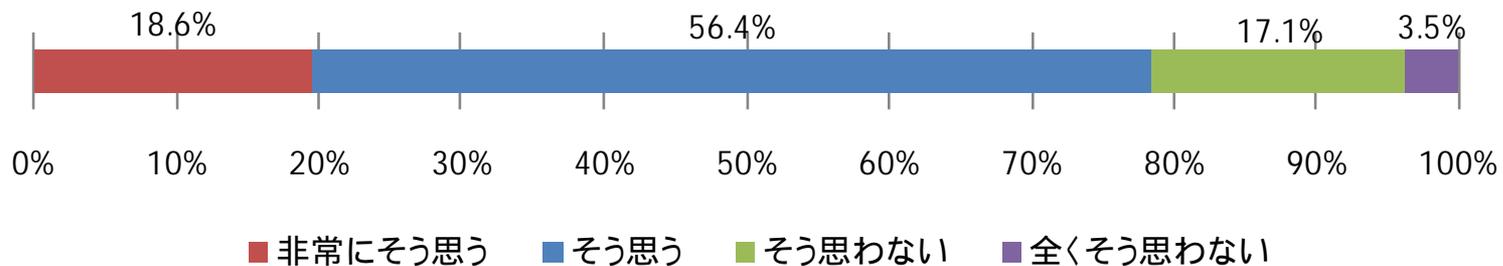
在宅医療に係る24時間診療体制の確保のための連携は良好である



専門的医療を提供するための連携が良好である

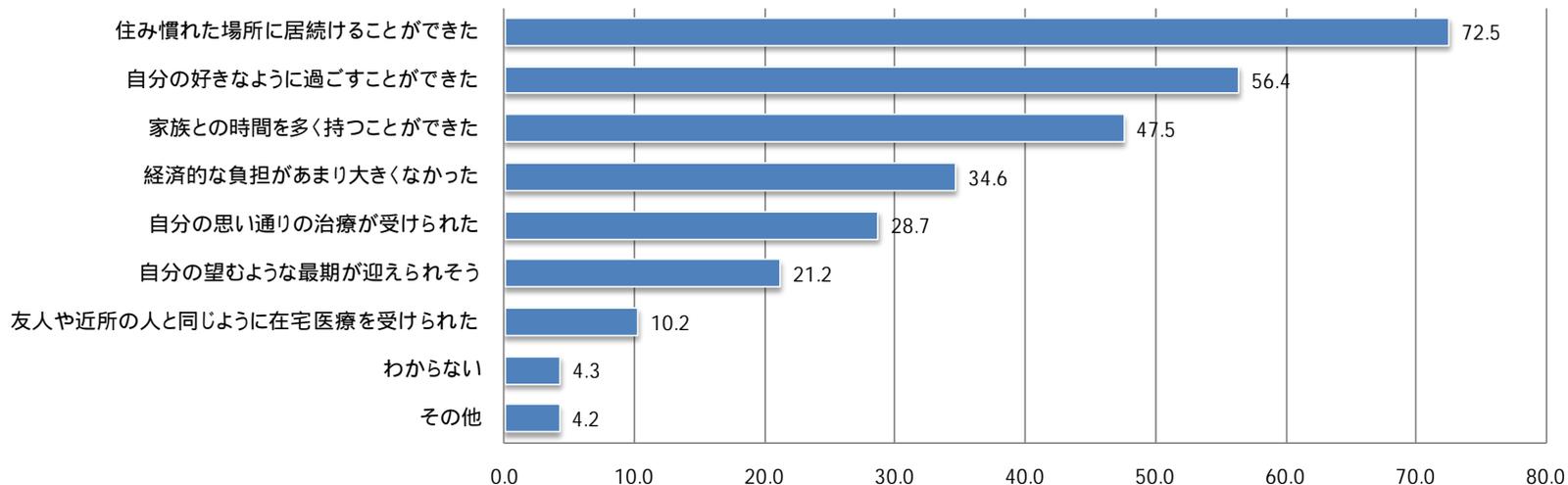


在宅医療のための訪問看護ステーションとの連携は良好である

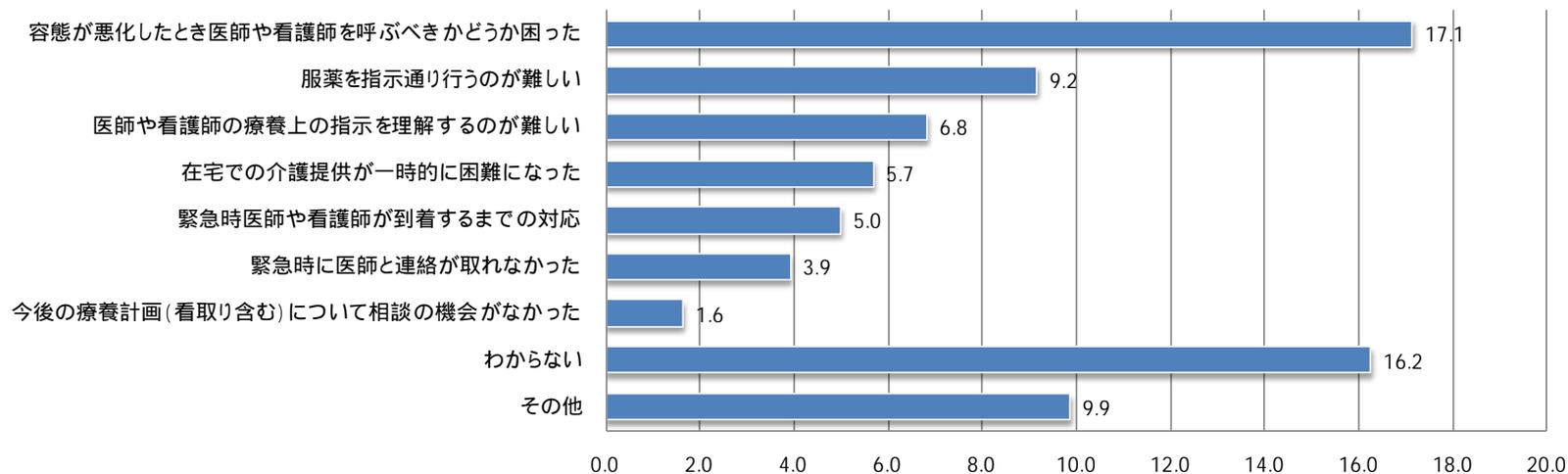


在宅医療に関する患者意識

在宅医療における良かった点



在宅医療において困った点

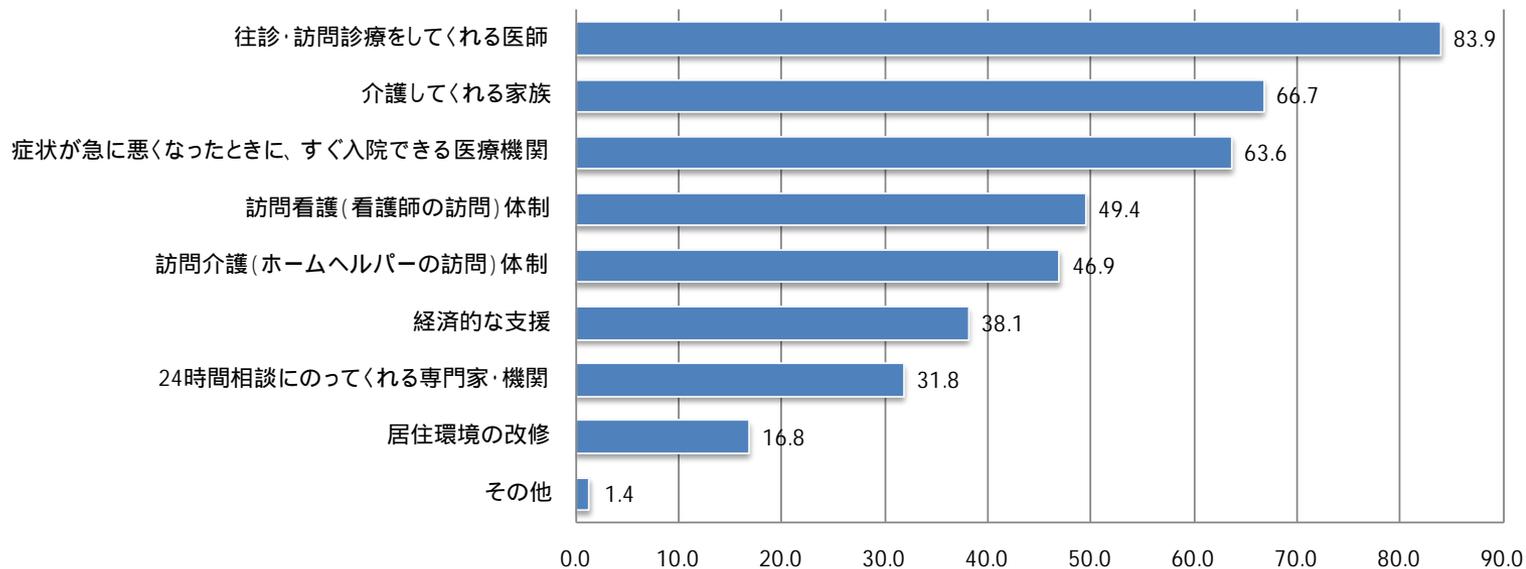


在宅医療に関する患者意識

寝たきりに近い状態になった場合、どこで療養生活を送りたいか



自宅で最後まで療養するために必要なこと

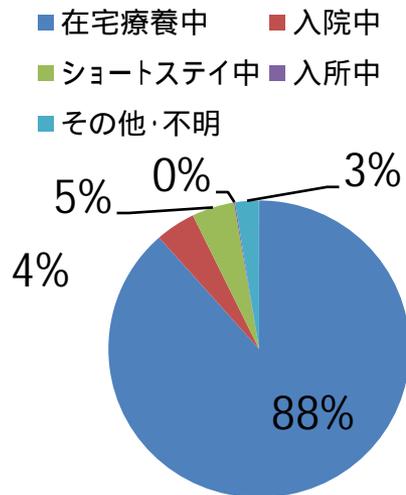


在宅療養者における褥瘡の実態

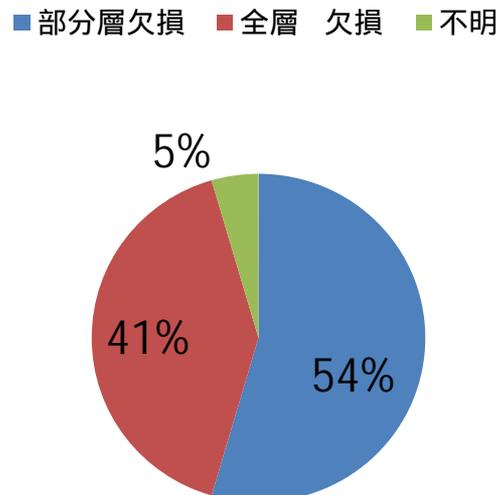
在宅療養患者における 褥瘡有病率 7.2% 発生率 4.5%

(病院、介護保険施設における有病率はそれぞれ2.5～5.2%、3%と比べて高い。)

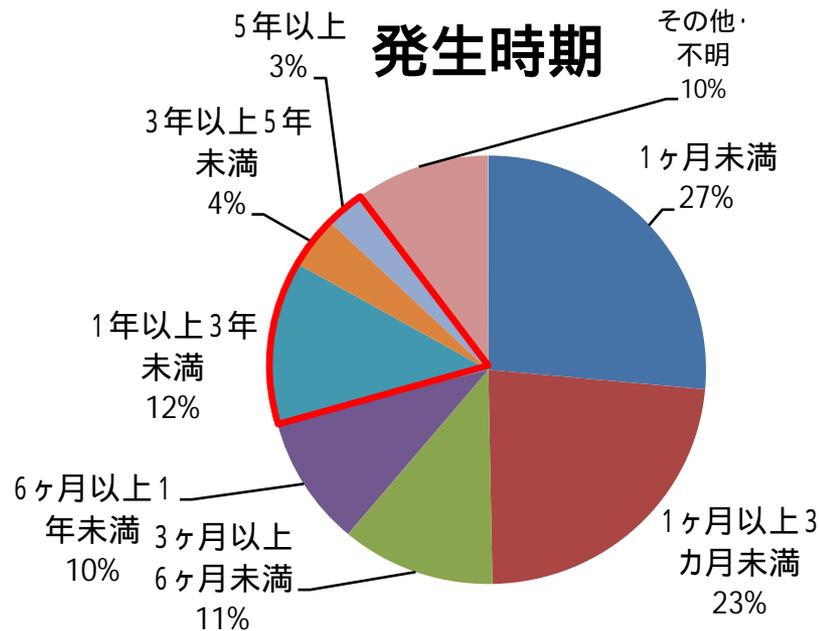
発生場所



深達度



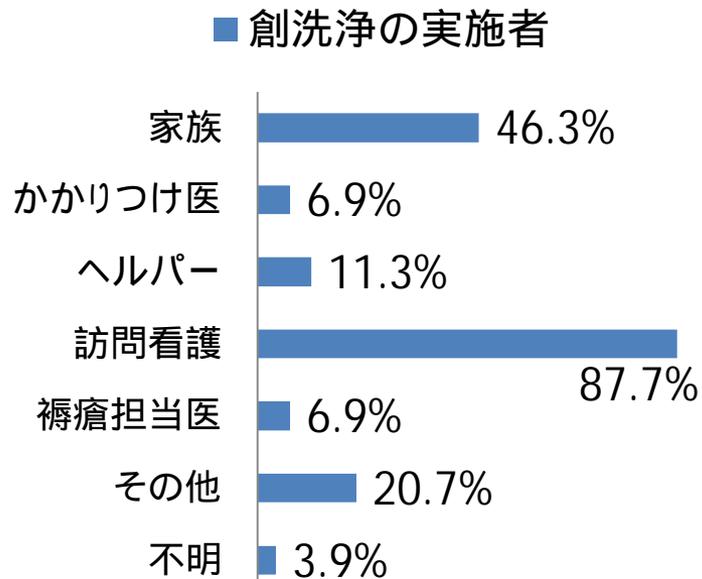
発生時期



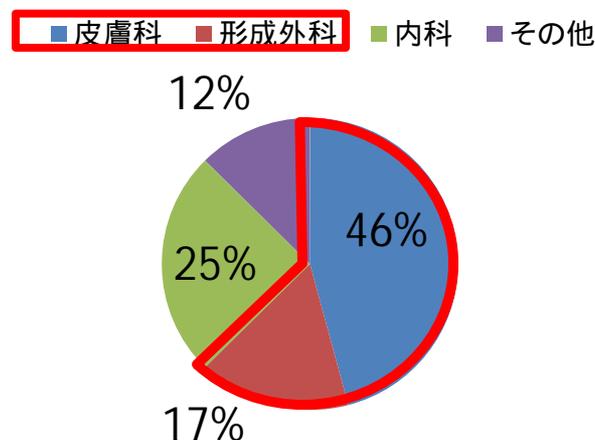
- 在宅療養患者の褥瘡のうち約90%は在宅療養中に発生
- 褥瘡のうち皮下組織まで達している深い褥瘡(全層欠損)は41%
- 発生から1年以上経過している褥瘡が18.6%である。

在宅療養者における褥瘡管理

深い褥瘡の局所管理



深い褥瘡 褥瘡担当医の診療科



- ・深い褥瘡管理においても家族、ヘルパーが実施しているものが46.3%,11.3%である。
- ・褥瘡担当医のうち約6.5割は皮膚科又は形成外科であった。

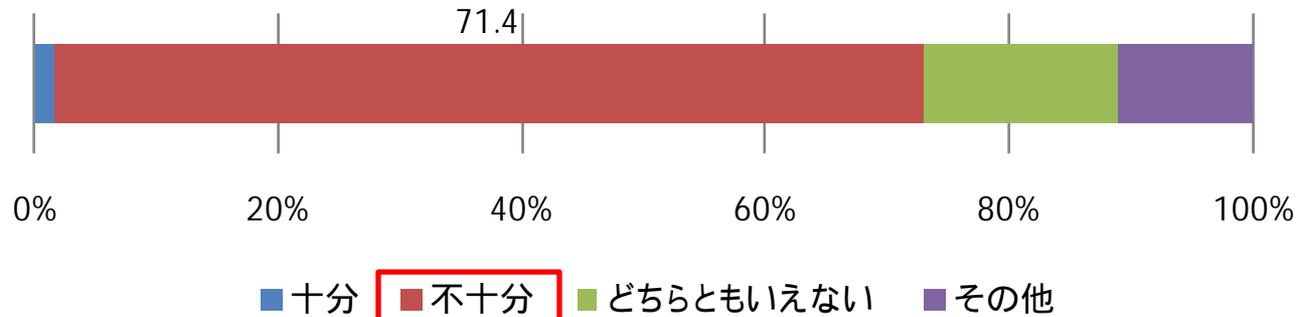
【皮膚科医師の早期介入】

皮膚科専門医の介入群(皮膚科医が往診)と非介入群(主に内科医の往診)とで比較したところ、介入群で褥瘡がより改善した。(DESIGN総点*の減少)

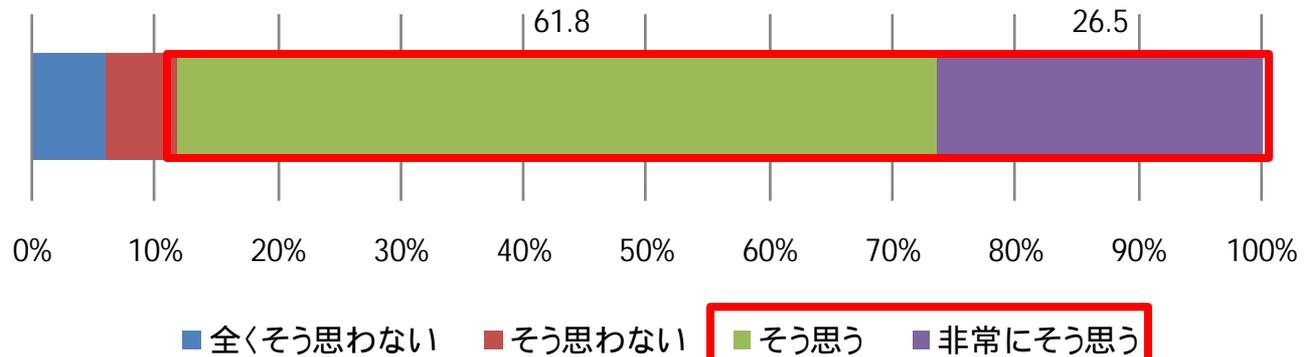
*DESIGNは褥瘡の深さ、浸出液、サイズ等をもって、褥瘡の状態を示す指標

小児在宅医療の提供状況

小児在宅医療の充足状況

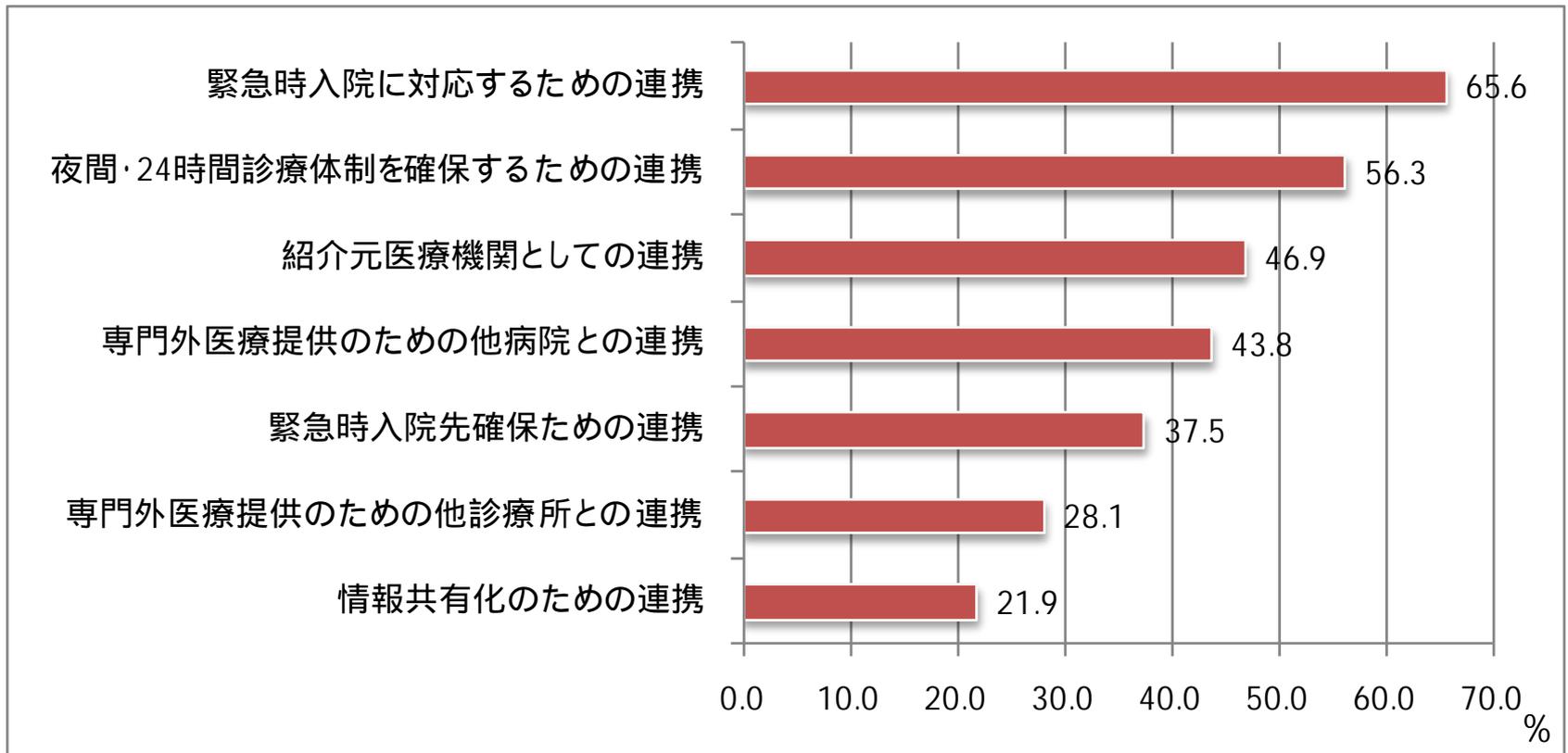


現在の提供できている以上に小児在宅医療のニーズがあるか



小児在宅医療における連携体制

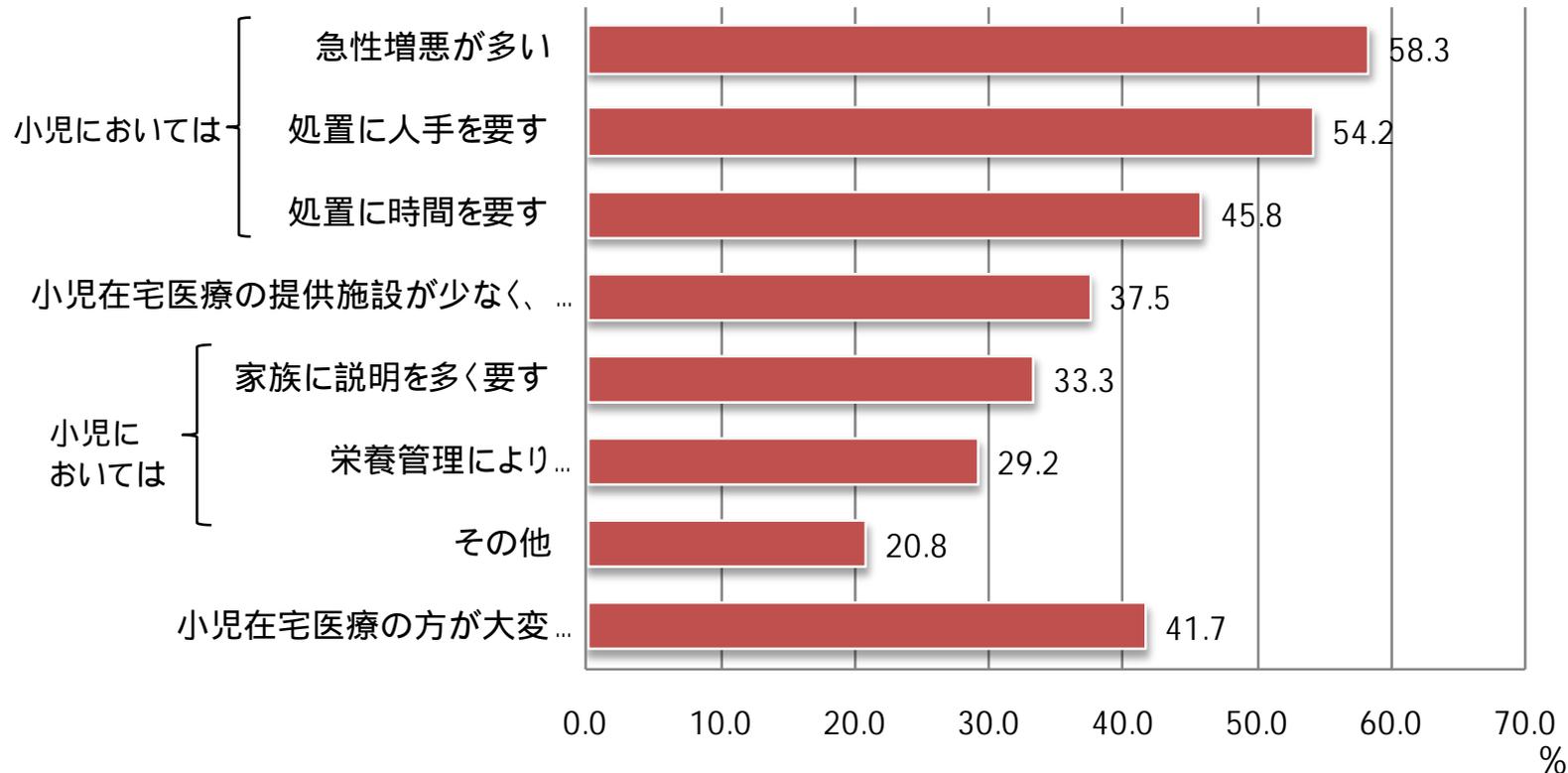
小児在宅医療を提供する医療機関がとっている連携について



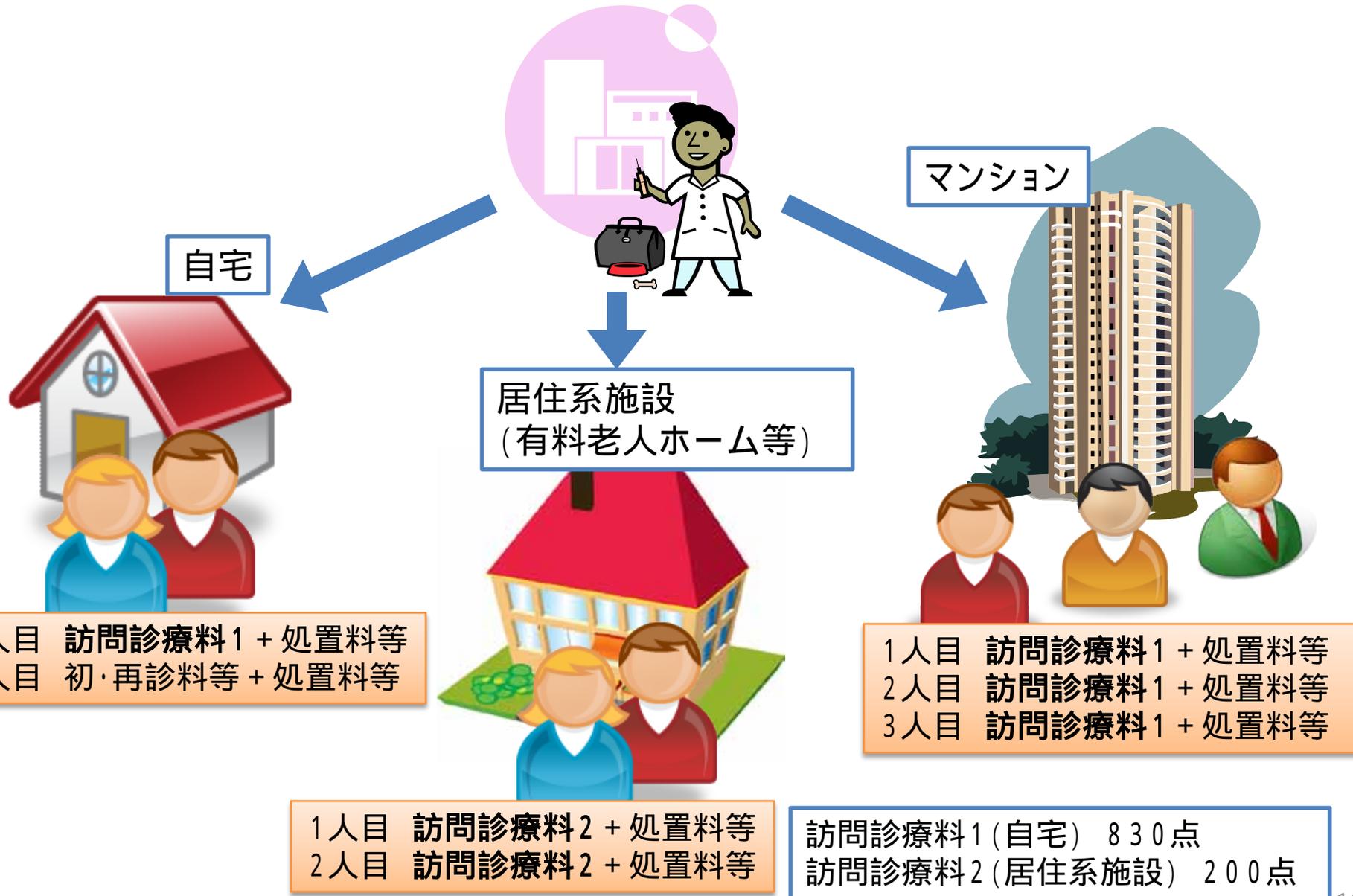
小児在宅医療における困難点

在宅医療を行う医療機関の約6割が小児の方が成人に対する在宅医療より困難な点があると回答

在宅医療における小児と成人の相違点



在宅患者訪問診療料(イメージ)

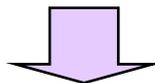


在宅療養支援診療所について

「在宅療養支援診療所」

診療報酬上の制度として、新たに「在宅療養支援診療所」を設け、これを患家に対する24時間の窓口として、必要に応じて他の病院、診療所等との連携を図りつつ、24時間往診、訪問看護等を提供できる体制を構築

在宅医療に係る評価の充実



「在宅療養支援診療所」であることを要件として、在宅医療に係る以下のような評価を充実

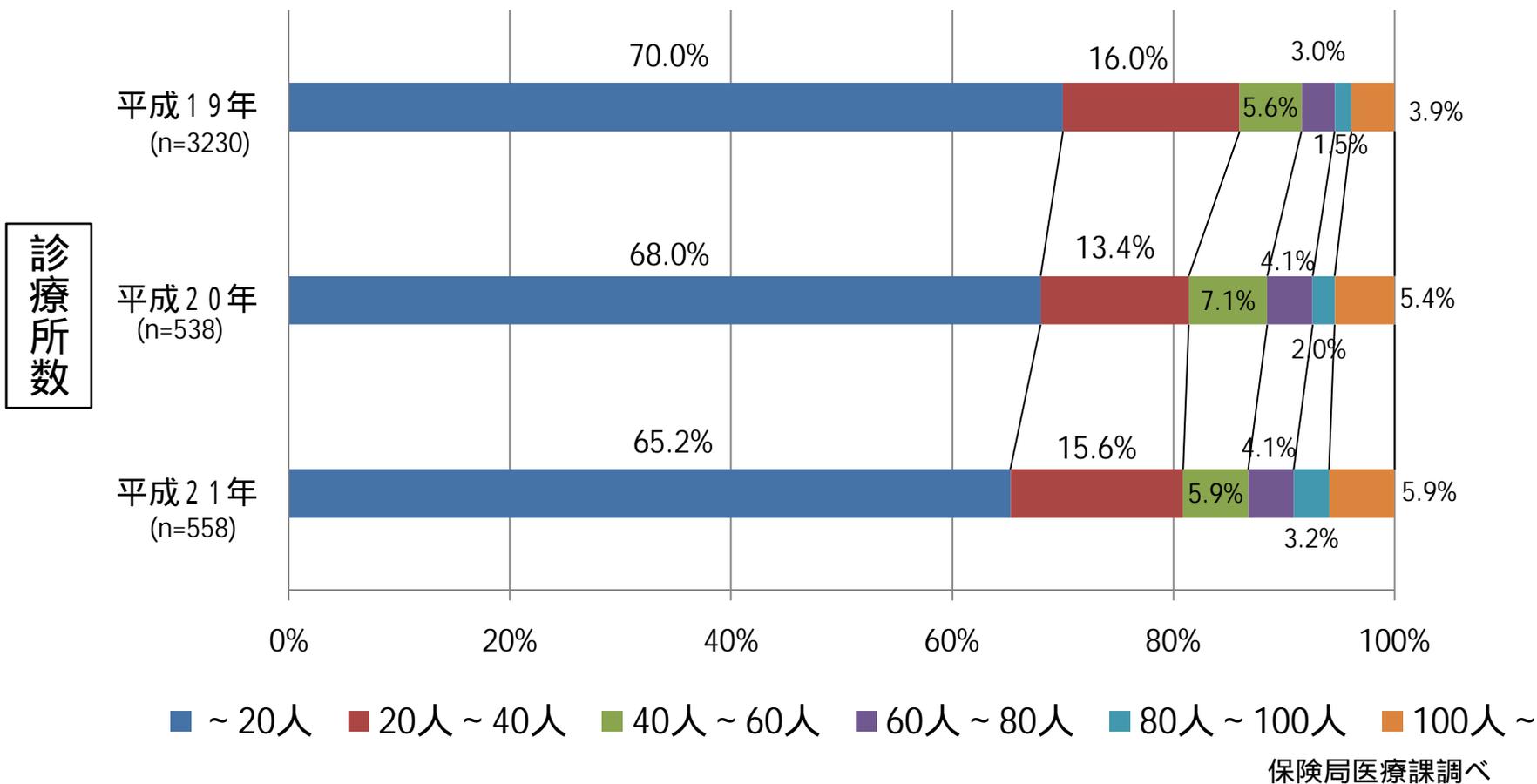
入院から在宅療養への円滑な移行に係る評価

在宅療養における24時間対応体制に係る評価

在宅におけるターミナルケアに係る評価

特別養護老人ホーム等におけるターミナルケアに係る評価

在宅患者の受け持ち数別にみる在宅療養支援診療所数割合



在宅療養支援診療所1施設当たりの在宅患者数は増加傾向にある。